

2019 年 5 月 13 日
(株) 文化財サービス

現地説明会のお知らせ

皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、当社では、昨年 12 月より、京都市東山区五条橋東 4 丁目 450 外において発掘調査を進めて参りました。

調査では、近代清水焼の窯道具や未製品等が出土する遺構・遺物、室町時代から平安時代、弥生時代の遺構・遺物などを発見しました。

この中で最も注目できる調査成果としては、平安時代後期の東西方向の石垣を伴う「堀」の発見があげられます。堀は幅 3.0m、底面の幅 1.8m、深さ 1.3m を測り、東西約 15m にわたり検出しましたが、西側 5m は東端に底面から石を積み上げ石垣を構築すると同時に版築を施して埋め、地業を行っています。石垣の構築方法は裏込めをしないものでした。堀内からは、12 世紀中頃に比定できる多量の遺物が出土しました。

平安時代後期の緊張した政治情勢の中で台頭してきた武家屋敷地の一部と考えられます。上級貴族等の価値観では住まうことのない鴨東の河原のような荒地や葬送地に居を構え勢力を伸ばした平氏関連の遺跡と捉える事が可能と考えられます。

その他、平安時代当該地周辺は鳥部野と呼ばれ葬送の地でした。調査においても平安時代中期頃と推定できる木炭槨墓、墓を画すると推定できる溝等の遺構も発見しています。

これらの調査成果を広く公開するために現地説明会を下記の要綱で実施いたしますので、是非、ご参加ください。

記

1. 日 時：2019 年 5 月 19 日（日）10：00～12：00
10 時と 11 時に担当者から説明をおこないます。
2. 場 所：京都市東山区五条橋東 4 丁目 450 外
3. 連絡先：調査担当者 菅田・広瀬（調査現場携帯番号 080-6204-8819 当日限り）
4. 参加費：無料
5. 注 意：当日 7 時現在、京都府南部に警報が発令された場合は中止といたします。